

令和5年度「原子力人材育成ネットワーク」シンポジウム

令和6年2月8日

日比谷国際ビルコンファレンススクエア

# 原子力に関する世論調査 (2022年度)

一般財団法人日本原子力文化財団

宇井 直人

# 目次

1. 世論調査（日本原子力文化財団 実施）の概要	..... P.3
2. 原子力に対するイメージ	..... P.4
3. 情報の受け手の意識・認知	..... P.5
4. 原子力に関する世論の動向（原子力に関する考えについて）	..... P.10
5. まとめ	..... P.17

# 1. 世論調査（日本原子力文化財団 実施）の概要

## 調査の目的

原子力に対する世論は、事故や災害などの出来事があるごとに大きく変動する傾向がある。そのため、本調査では、全国規模の世論調査を**定点的、経年的**に実施し、**原子力に関する世論の動向や情報の受け手の意識を正確に把握**することを目的として実施している。また、調査結果を基に、さまざまなステークホルダーが活用することができる情報発信方法を検討している。

## 調査手法

### 定点調査

- ・調査地域 全国
- ・調査対象者 15～79歳男女個人
- ・サンプリング 1,200人／住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当
- ・標本数の配分 200地点（1地点6サンプル）を地域・市郡規模別の各層に比例配分
- ・調査手法 オムニバス調査  
訪問留置調査

## 実査時期

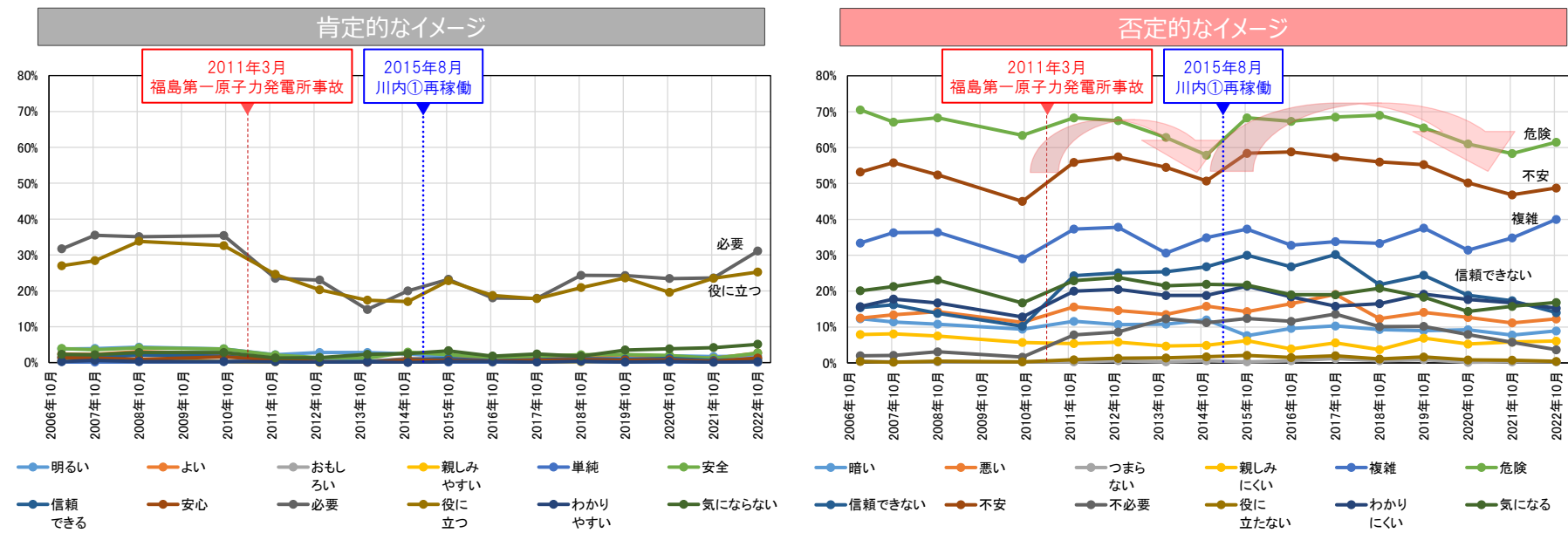
### 経年変化

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 第1回：2007年1月  | 第9回：2015年10月         |
| 第2回：2007年10月 | 第10回：2016年10月        |
| 第3回：2008年10月 | 第11回：2017年10月        |
| 第4回：2010年9月  | 第12回：2018年10月        |
| 第5回：2011年11月 | 第13回：2019年10月        |
| 第6回：2012年11月 | 第14回：2020年10月        |
| 第7回：2013年12月 | 第15回：2021年10月        |
| 第8回：2014年11月 | <b>第16回：2022年10月</b> |

**2006年度から同じ手法で継続的に実施している全国規模の調査  
原子力に対する世論の経年変化を観察できる他に類を見ない調査**

## 2. 原子力に対するイメージ (2006～2022年度)

問 あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



- 原子力に対するイメージは、2011年の福島第一原子力発電所事故の前から「否定的なイメージ」のポイントが高く、その中でも、「危険」、「不安」は、事故の前後に関わらず、高い割合を示している
- 2021→2022年度で、「必要」が増加(+7.5)、福島第一原子力発電所事故以降、最も高いポイント(31.1%)
- 「信頼できない」は、徐々に減少し、福島第一原子力発電所事故以前と同程度の水準となった(14.0%)
- 「危険」、「不安」は、直近、減少傾向が続いていたが、2022年度は微増
- 否定的なイメージの変動理由：影響を与えるうる出来事およびニュースで伝えられる情報量によって変動したと推測

【2010～2014年度】の変動：2011年の福島第一原子力発電所の事故

【2014～2021年度】の変動：2015年の川内原子力発電所1号機の再稼働(新規制基準で初)

## 3. 情報の受け手の意識・認知

3-1. エネルギーや原子力、放射線に対する関心 (2006～2022年度)

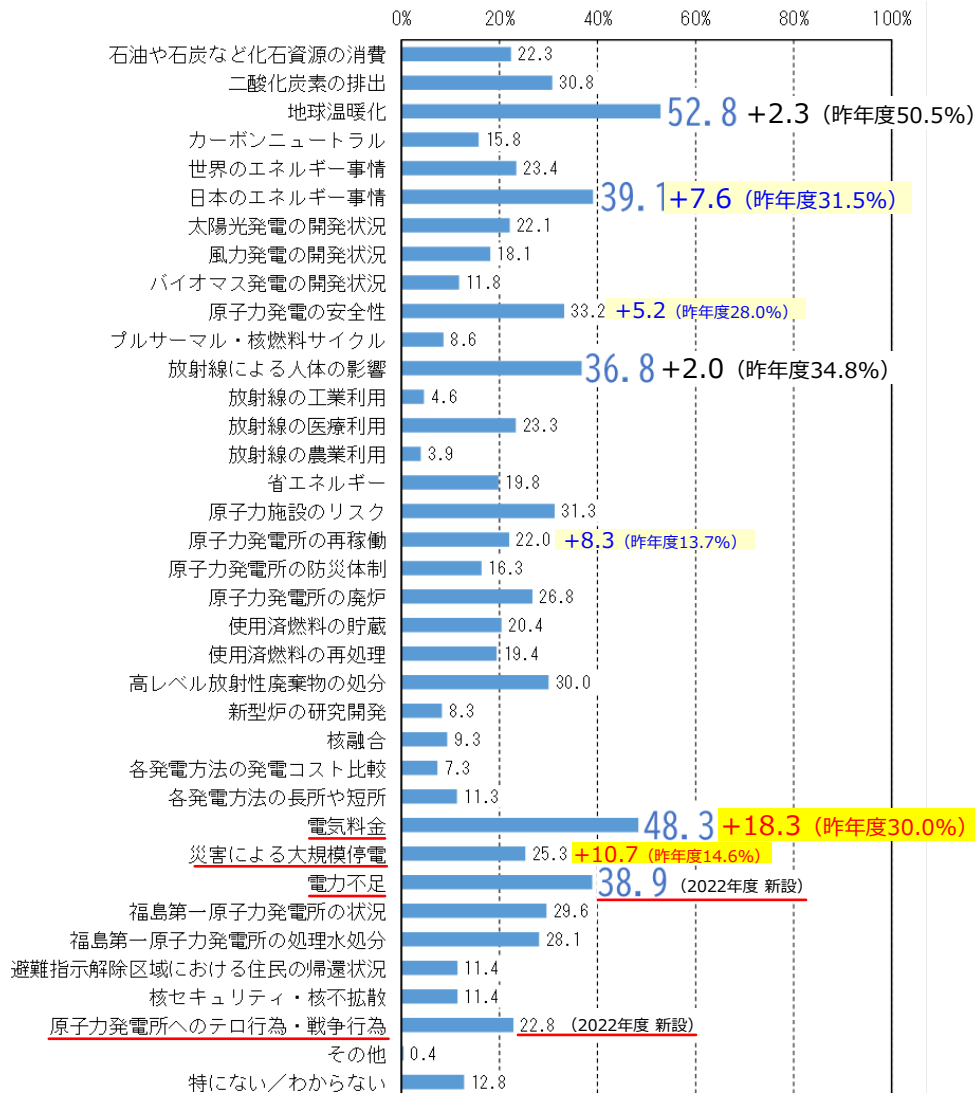
3-2. 原子力分野の情報保有量 (2018～2022年度)

3-3. 高レベル放射性廃棄物処分の情報保有量 (2019～2022年度)

3-4. 福島第一原子力発電所・処理水の海洋放出の情報保有量 (2022年度)

# 3-1. エネルギーや原子力、放射線に対する関心 (2022年度)

問 原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



- 地球温暖化、電気料金、日本のエネルギー事情、電力不足、放射線による人体への影響が上位項目

- 2022年度に新設した2項目の関心が高い  
電力不足：38.9%  
原子力発電所へのテロ行為、戦争行為：22.8%

- 2021→2022年度  
「電気料金」が大幅に増加 (+18.3)  
「災害による大規模停電」も増加 (+10.7)  
→エネルギー安定供給関連に関心が集まる  
「原子力発電所の再稼働」、「日本のエネルギー事情」、  
「原子力発電の安全性」も増加  
→原子力発電の再稼働に関心が集まる

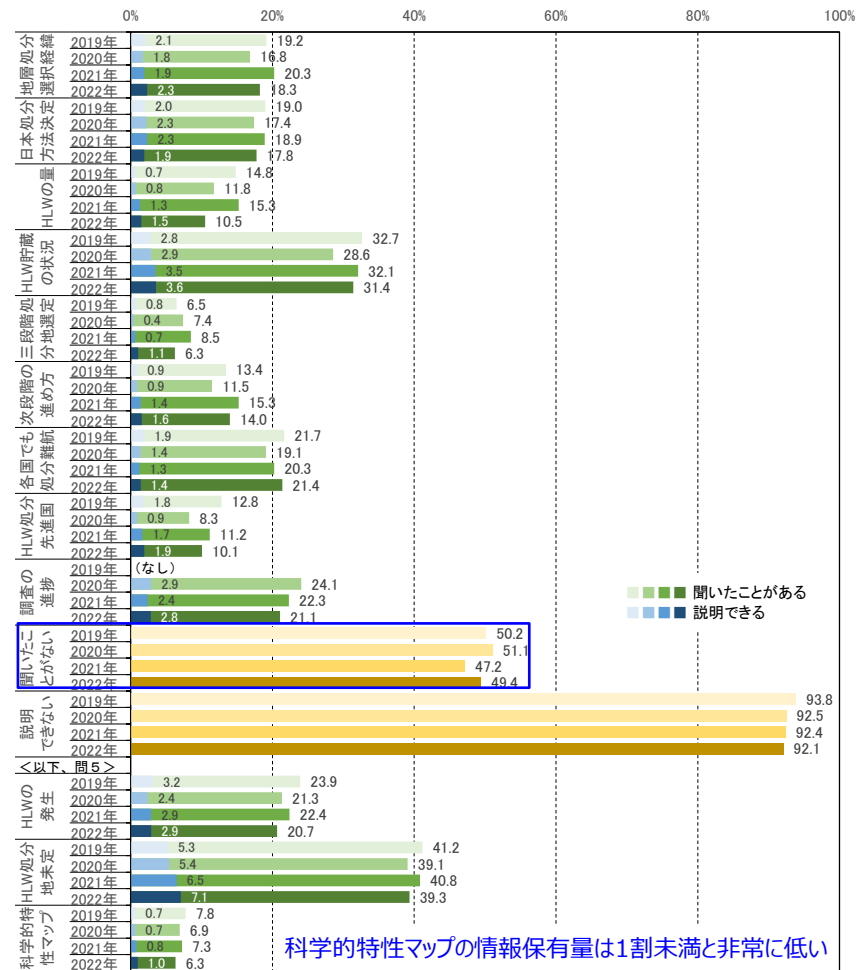
エネルギー安定供給関連への関心【増】  
電気料金、大規模停電、電力不足などに反応



# 3-3. 高レベル放射性廃棄物処分の情報保有量 (2019~2022年度)

原子力発電所で使い終わった使用済核燃料からウランとプルトニウムを取り出した残りのごみは、ガラスと一緒に溶かし固められ、「高レベル放射性廃棄物」となります。この高レベル放射性廃棄物は、「地層処分」することが法律により定められていますが、まだ処分地は決定していません。

問 あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。／ 問「選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。



○高レベル放射性廃棄物の処分について  
「聞いたことがあるもの」の50%超は【無】  
○「聞いたことがない」が約5割

高レベル放射性廃棄物分野の情報保有量は低い

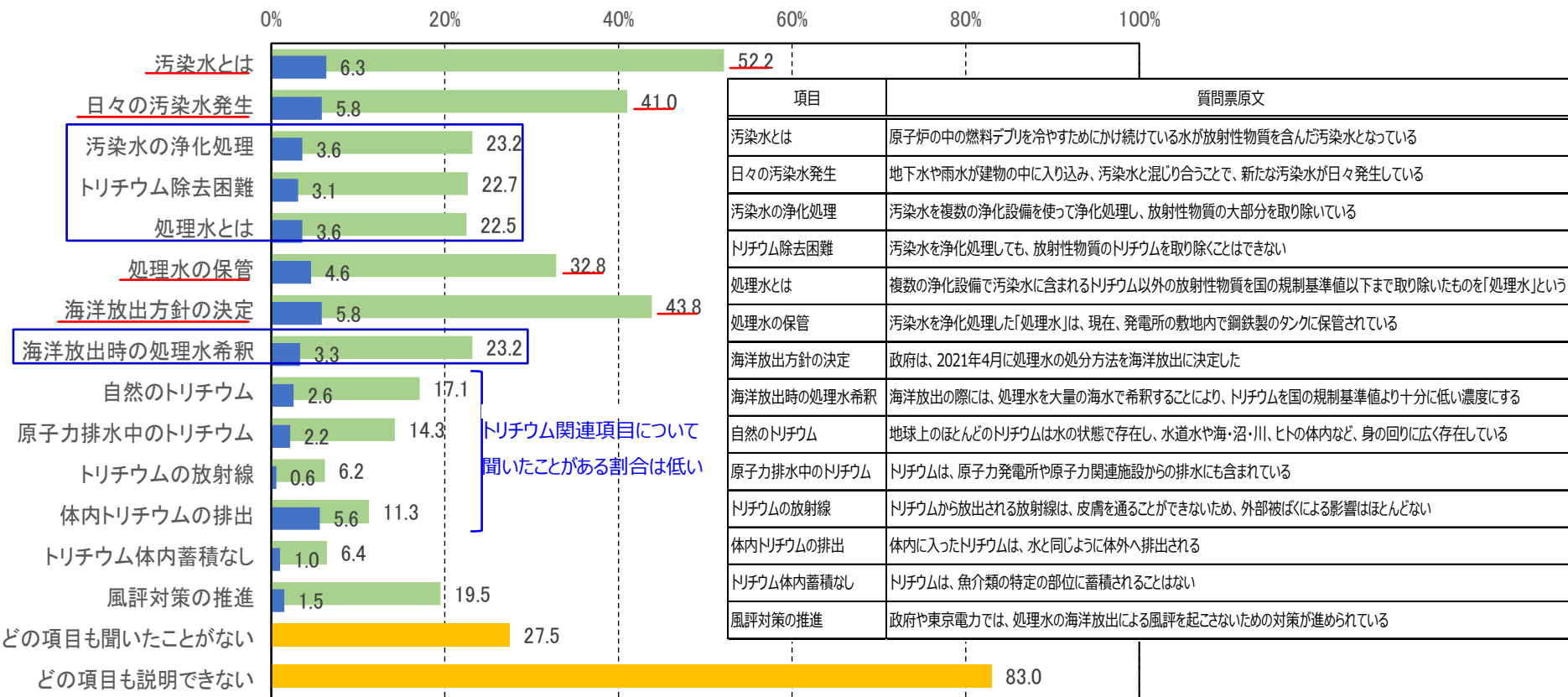
項目	質問票原文
地層処分選択の経緯	宇宙処分、海洋底処分、氷床処分、地層処分、地上での長期管理などをさまざまな側面から検討した結果、地層処分が現時点でもっとも有望な処分方法であるとの国際的な共通見解に至った
日本での処分方法決定	日本では、高レベル放射性廃棄物は地下300メートルより深いところに埋設して処分する（地層処分）ことが、2000年に法律で定められた
HLWの量	日本には、現在、約2,500本の高レベル放射性廃棄物がある
HLW貯蔵の状況	高レベル放射性廃棄物は、現在、青森県六ヶ所村にある一時貯蔵施設などで冷却貯蔵されている
三段階の処分地選定	「文献調査」、「概要調査」、「精密調査」の三段階の調査によって、処分地に適した場所を選ぶことが法律で定められている
次の段階への進め方	調査の各段階で地域の人々から意見を聞く機会を設け、もし地域が反対の意思を決めた場合には、次の段階に進まない
各国でも処分難航	高レベル放射性廃棄物の最終処分は、原子力を利用してきた国に共通する課題で、多くの国でまだ処分地が決定していない
HLW処分の先進国	スウェーデンとフィンランドでは、高レベル放射性廃棄物の処分地が選定されている
調査の進捗	処分地の選定に向けた調査に関心を持っている自治体がある
HLWの発生	使用済核燃料のウランとプルトニウムを取り出し、再び燃料として再処理する過程で高レベル放射性廃棄物が発生する
HLW処分地未定	原子力発電で発生する高レベル放射性廃棄物は、まだ処分地が決定していない
科学的特性マップ	2017年7月に高レベル放射性廃棄物の処分地を選ぶ際に考慮される科学的特性を日本全国で俯瞰した「科学的特性マップ」が公表された



# 3-4. 福島第一原子力発電所・処理水の海洋放出の情報保有量 (2022年度)

2011年に事故を起こした福島第一原子力発電所では、現在、廃炉作業が進められています。その一環として行われる「処理水の海洋放出」についてお聞きます。

問 あなたが「聞いたことがあるもの」はどれですか。／ 問 「選択した事柄」のうち、あなたが「他の人に説明できるもの」はどれですか。



上位4項目だけをつなげると  
“汚染水”を“そのまま”海洋放出すると  
誤解している可能性がある

■ 聞いたことがある  
■ 説明できる

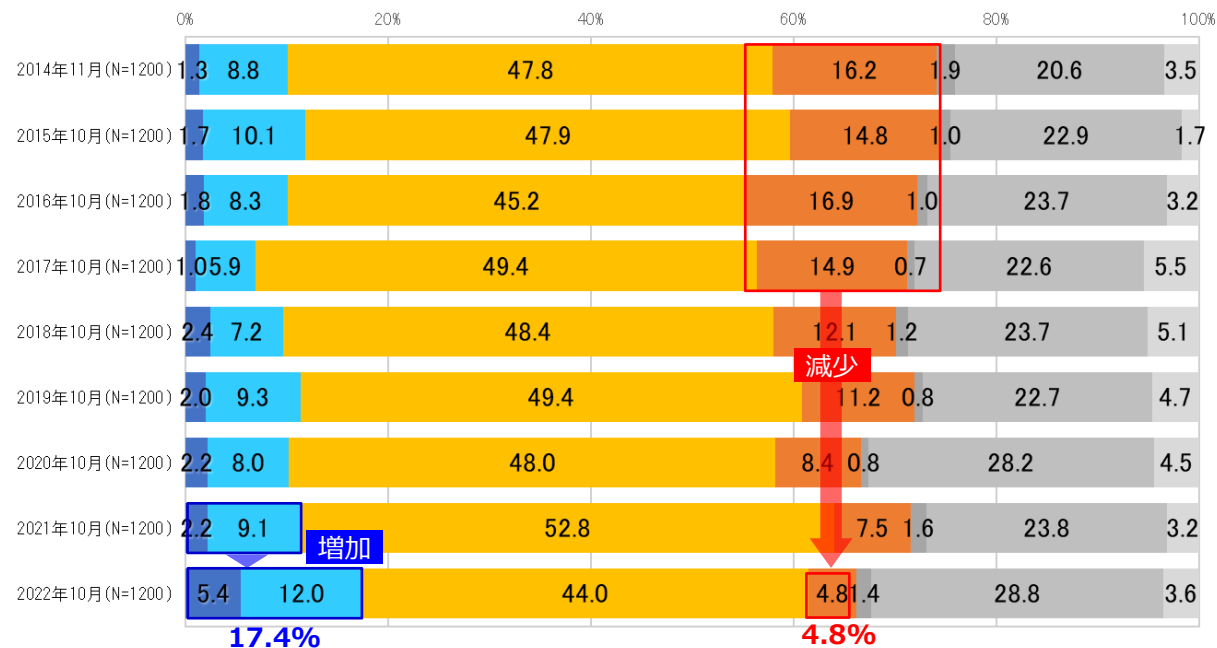
## 4. 原子力に関する世論の動向（原子力に対する考えについて）

- 4-1. 今後の原子力発電の利用に対する考え（2014～2022年度）
- 4-2. 原子力発電の再稼働に対する考え（2018～2022年度）
- 4-3. 今後、利用すべきエネルギーに対する考え（2008～2022年度）
- 4-4. 高レベル放射性廃棄物の処分に対する考え（2017～2022年度）
- 4-5. 福島第一原子力発電所の処理水に対する考え（2022年度）

# 4-1. 今後の原子力発電の利用に対する考え (2014~2022年度)

問 今後日本は、原子力発電をどのように利用していけばよいと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【2014~2022年度】



原子力発電の積極的な利用の  
意見が増加傾向

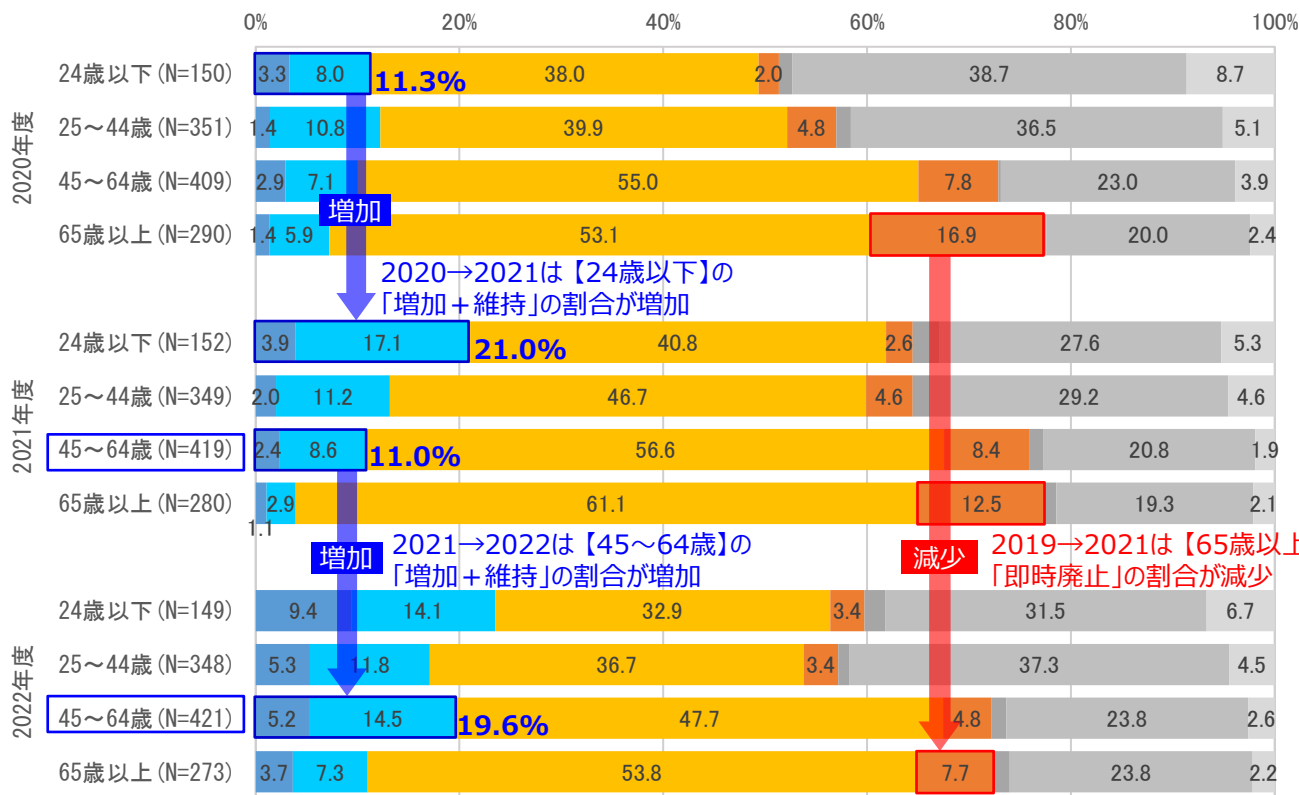
- 原子力発電を増やしていくべきだ (増加)
- 東日本大震災以前の原子力発電の状況を維持していくべきだ (維持)
- 原子力発電をしばらく利用するが、徐々に廃止していくべきだ (徐々に廃止)
- 原子力発電は即時、廃止すべきだ (即時廃止)
- その他
- わからない
- あてはまるものはない

- 最も多かった回答は、「原子力発電をしばらく利用するが、徐々に廃止していくべきだ」の44%  
次いで、「わからない」が29%程度、「増加+維持」は約17%で、「即時、廃止すべき」の約5%と続く
- 「原子力発電をしばらく利用するが、徐々に廃止していくべきだ」の割合が高いことから、  
原子力発電は、しばらく使わざるを得ない技術と認識されていることが確認できる
- 「わからない」 20~30%を維持している
- 2015年前後と比べると、2022年度では「即時、廃止」の割合が大きく減少し、  
2021→2022年度で「増加+維持」の割合が増加したことにより、「増加+維持 17.4%」と「即時廃止 4.8%」の差が10%超となった

# 4-1. 今後の原子力発電の利用に対する考え (2020～2022年度)

問 今後日本は、原子力発電をどのように利用していけばよいと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○は1つだけ)

【2020～2022年度／年代別】



- 原子力発電を増やしていくべきだ (増加)
- 東日本大震災以前の原子力発電の状況を維持していくべきだ (維持)
- 原子力発電をしばらく利用するが、徐々に廃止していくべきだ (徐々に廃止)
- 原子力発電は即時、廃止すべきだ (即時廃止)
- その他
- わからない
- あてはまるものはない

## 【24歳以下】

- ・2020→2021で「増加+維持」が増加
- ・2022は「増加+維持」の高い割合が維持され、どの年代よりも高い (23.5%)

## 【24歳以下・25-44歳】

- ・「わからない」の割合が高い
- 「わからない」と回答する割合が高い

## 【45-64歳】

- ・2021→2022で「増加+維持」が増加

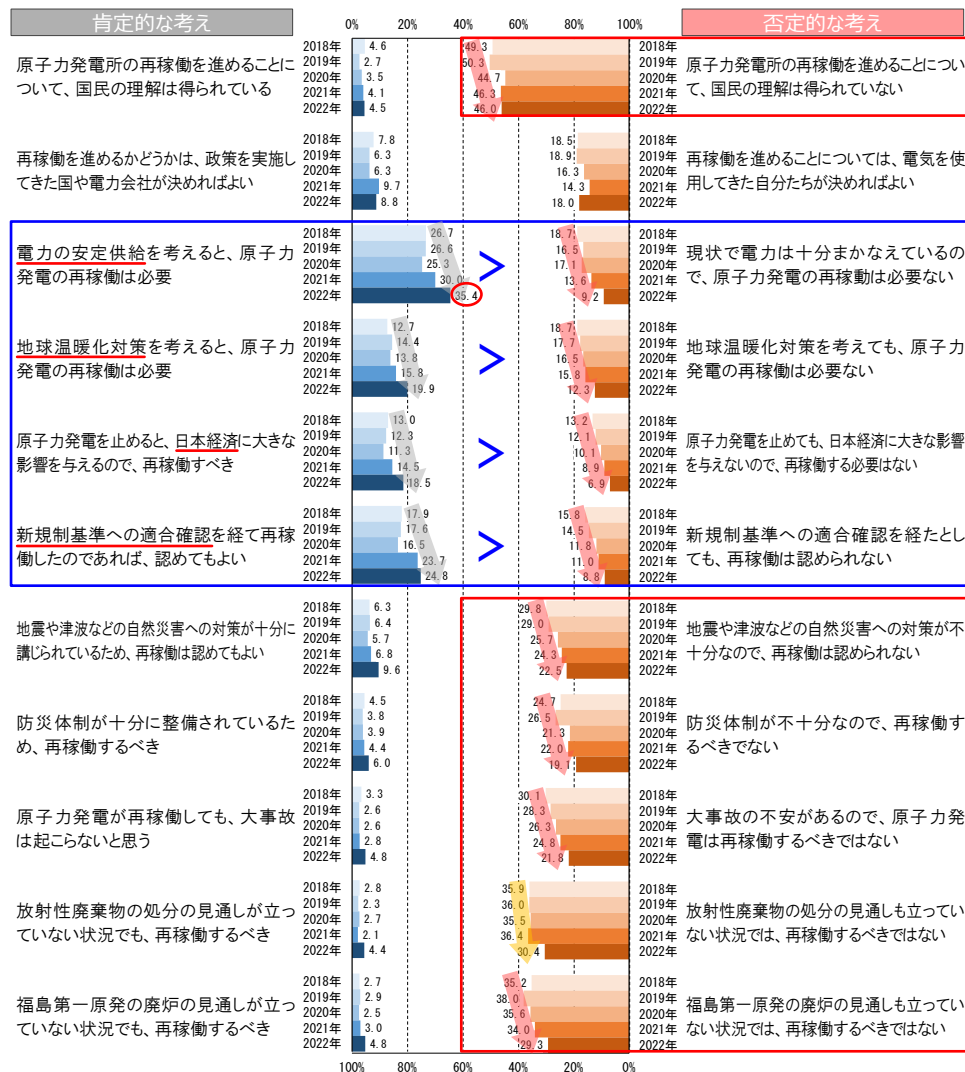
## 【65歳以上】

- ・2020→2022で「即時廃止」が減少

これまで変化が少なかった【45-64歳・壮年世代】の原子力発電の積極的な利用の意見が増加

# 4-2. 原子力発電の再稼働に対する考え (2018~2022年度)

問 原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、地元自治体の了解を得て、再稼働されることになります。以下のような再稼働に関するご意見について、あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。(〇はいくつでも)



- 最も大きい意見は、「国民の理解は得られていない」の46%、次点は「電力の安定供給を考えると再稼働は必要」約35%

- 肯定的な考えー否定的な考えの“対”になるように並べ替え比較

【赤枠】：考えが片側（否定的な考え）に集中している項目

→割合の高い考えについてはしっかり受け止める必要がある

【青枠】：肯定・否定のどちらにもある程度のポイントがあり、再稼働に対する考えが引き合いになっている項目

→「電力安定供給」、「地球温暖化」、「新規制基準適合」、

「経済性」のいずれも【肯定的な考え】が優勢

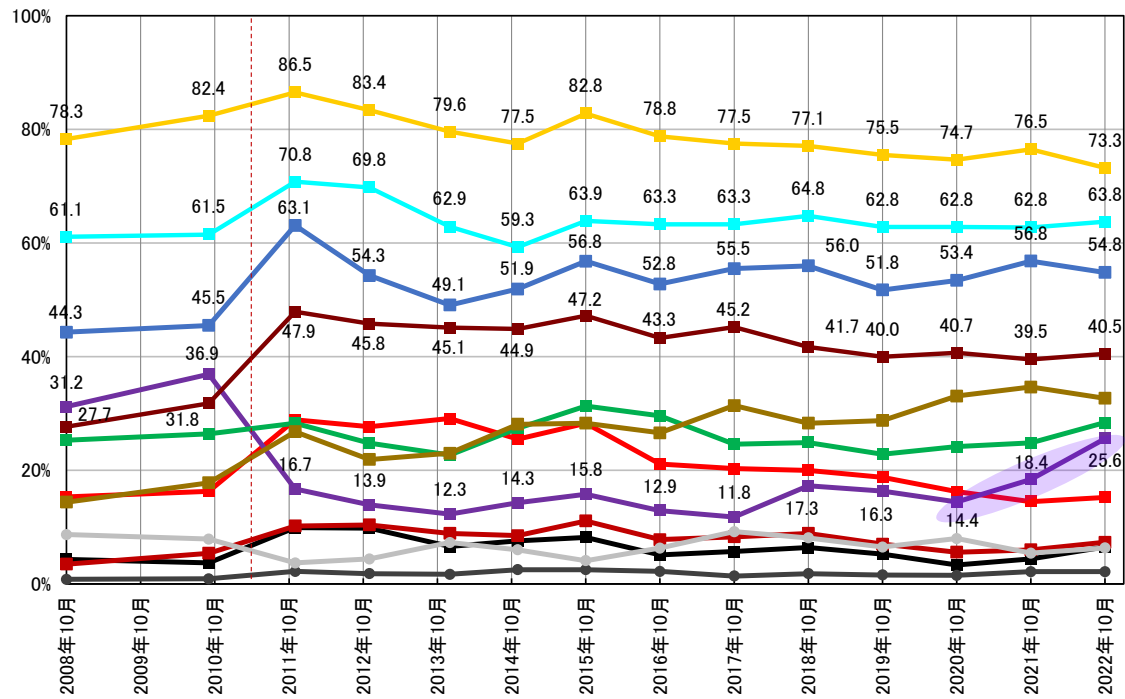
- 否定的な考え：ほとんどの項目が年々減少傾向

「放射性廃棄物の処分の見通しも立っていない状況では再稼働するべきではない」は、2018~2021年度までは変化がない

再稼働に対する否定的な考えが減少し、肯定的な考えが増加している

# 4-3. 今後、利用すべきエネルギーに対する考え (2008~2022年度)

問 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(○はいくつでも)



2011年度以降、  
上位項目に変化なし

- ①太陽光発電
- ②風力発電
- ③水力発電
- ④地熱発電

2020→2022年度にかけて  
原子力発電利用の  
意見が増加

2020→2022年度で「原子力発電」に対する  
期待値が増えたのは、45-64歳（壮年世代）

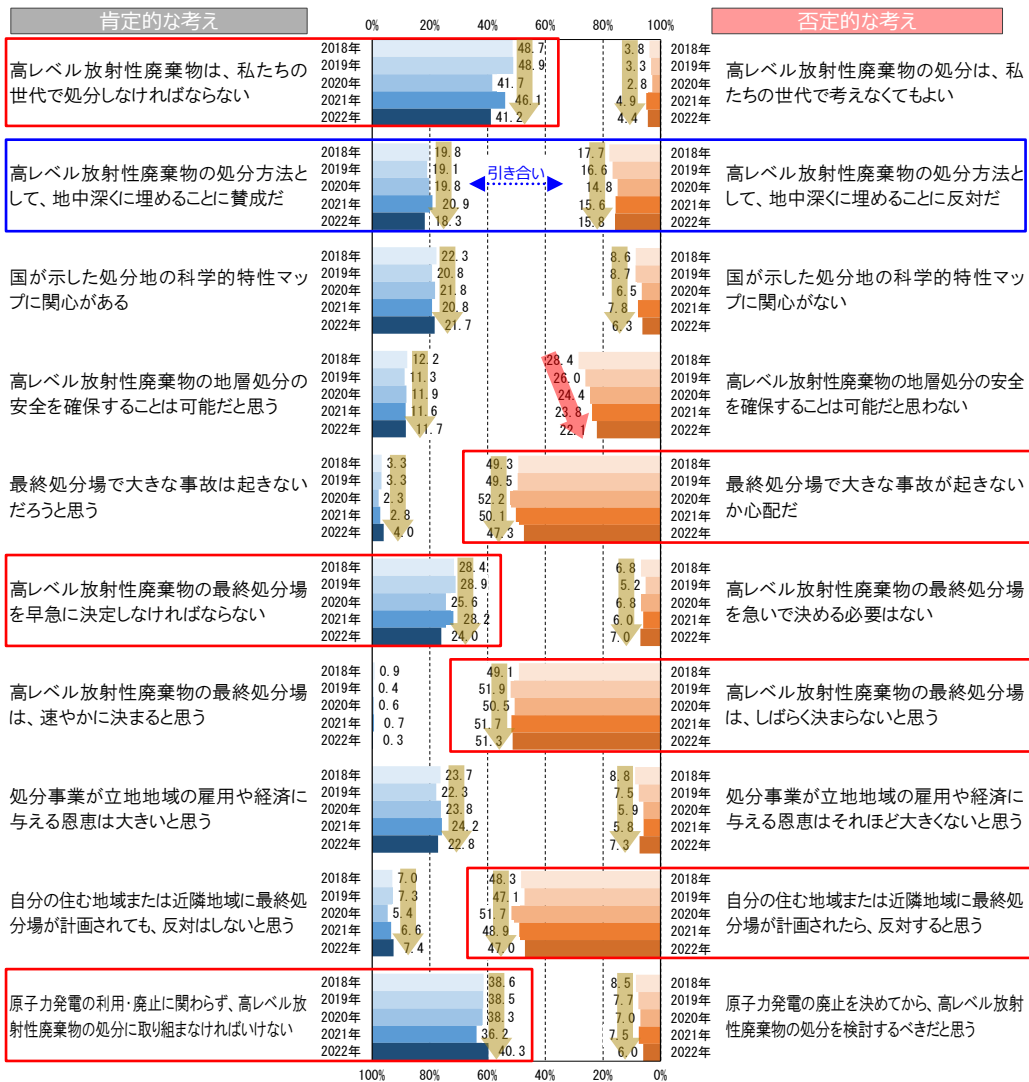
- 石炭火力発電
- 石油火力発電
- 天然ガス火力発電
- 風力発電
- その他
- 水力発電
- 地熱発電
- 原子力発電
- 太陽光発電
- あてはまるものはない
- 廃棄物発電
- バイオマス発電

5%以上増加  
5%以上減少

	2020年度					2021年度					2022年度				
	全体	24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	全体	24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上	全体	24歳以下	25~44歳	45~64歳	65歳以上
全体	1200	150	351	409	290	1200	152	349	419	280	1200	149	357	421	273
石炭火力発電	3.3	5.3	4.0	1.7	3.8	4.4	7.2	6.3	2.9	2.9	6.5	10.1	6.2	6.2	5.5
石油火力発電	5.6	5.3	6.8	4.2	6.2	6.0	8.6	7.2	5.3	4.3	7.3	7.4	8.1	6.9	7.0
天然ガス火力発電	16.3	11.3	14.2	16.1	21.4	14.5	9.2	14.6	13.4	18.9	15.3	13.4	13.7	16.2	16.8
原子力発電	14.4	17.3	16.8	13.2	11.7	18.4	20.4	19.5	18.6	15.7	25.6	24.2	25.8	28.0	22.3
水力発電	53.4	52.7	52.4	50.6	59.0	56.8	51.3	55.3	58.2	59.6	54.8	48.3	52.7	55.1	60.8
地熱発電	40.7	36.0	37.3	43.5	43.1	39.5	37.5	36.1	37.5	47.9	40.5	38.3	33.1	42.3	48.7
風力発電	62.8	56.0	62.1	62.6	67.6	62.8	60.5	59.0	64.2	66.4	63.8	51.0	59.9	65.8	72.5
太陽光発電	74.7	66.7	71.5	78.0	77.9	76.5	69.7	70.5	78.0	85.4	73.3	61.1	69.2	77.4	78.8
廃棄物発電	24.2	24.0	26.2	20.3	27.2	24.8	25.0	19.8	24.6	31.4	28.4	28.9	28.9	27.3	29.3
バイオマス発電	33.1	27.3	30.2	34.2	37.9	34.7	30.3	32.7	36.5	36.8	32.7	27.5	30.0	36.3	33.3
その他	1.5	0.7	2.3	1.5	1.0	2.2	2.0	2.3	2.4	1.8	2.2	1.3	2.0	2.9	1.8
あてはまるものなし	8.0	13.3	9.7	6.6	5.2	5.4	9.2	6.6	3.8	4.3	6.3	13.4	8.4	3.3	4.4

# 4-4. 高レベル放射性廃棄物の処分に対する考え (2018~2022年度)

問 高レベル放射性廃棄物の処分について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか。あなたのご意見と近いものをお選びください。(○はいくつでも)



【赤枠】：考えが片側に集中している項目

「処分を進めなければならないと思う一方で、大きな事故が心配で、近隣への処分場立地には反対、最終処分場はしばらく決まらない」という意見を持っている

【青枠】：考えが引き合いになっている項目

地層処分が国際的に共通した最善の選択肢とされているが、「地中深くに埋めること」に対して意見が引き合いになっている  
肯定的な考えの方が優勢

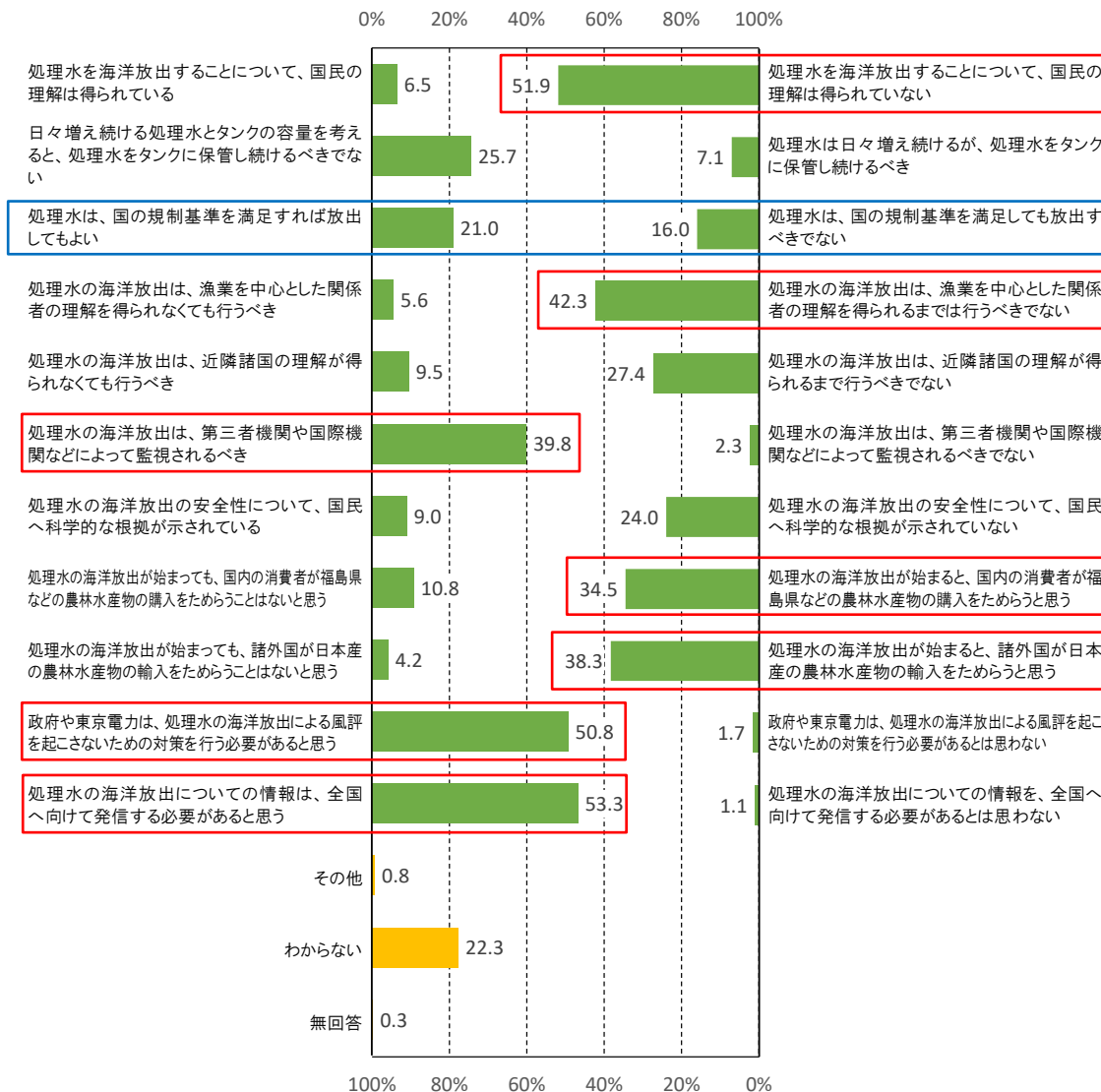
【経年変化】

- 【赤枠】の大きな意見は、2018→2022の5年間で大きな変化は見られない
- 再稼働に対する考え (P.13) と比べると、大きな変化は見られない

HLWについて大きな意見の変化はない  
HLWを考えるきっかけとなる  
情報発信が必要？

# 4-5. 福島第一原子力発電所の処理水に対する考え (2022年度)

問 福島第一原子力発電所の汚染水を浄化処理した「処理水」について、あなたは、以下のような意見をどのように感じますか。(〇はいくつでも)



【赤枠】：考えが片側に集中している項目

赤枠の大きな意見をつなげると次のような考えが見えてくる

処理水の海洋放出については、「国民の理解が得られていない」、また、「第三者機関等によって監視されるべき」で、「漁業関係者の理解」も必要。海洋放出すると、「国内消費者」や「諸外国」が「福島県等の農林水産物の購入をためらう」ので「風評を起こさないための対策が必要」という意見に。



## 5. まとめ (世論の現状・傾向)

- 原子力積極利用・再稼働容認の意見は増加
  - … 45～64歳という**社会の中心的立場の層での変化**  
再稼働については**否定的意見の減少、肯定的意見の増加**
- エネルギー安定供給関連の関心は増加
  - … 電気料金・停電などのキーワードに反応  
**自然災害・ウクライナ情勢の影響**が大きい
- 原子力の情報保有量は変化なし
  - … **原子力のことを「知って」の変化ではない**
- 高レベル放射性廃棄物⇒情報保有・意見ともに、**経年変化があまりない**

**原子力に関する世論調査  
財団ホームページ（下記URL）で報告書データを公開**

[https://www.jaero.or.jp/data/01jigyuu/tyousakenkyu\\_top.html](https://www.jaero.or.jp/data/01jigyuu/tyousakenkyu_top.html)

詳しくは WEBで

世論調査 原子力文化

検索